舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2020.7.1 №4

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

健康に気をつけながら少しずつ

６月から給食が始まったので、配膳のお手伝いなどで教室に行くと、子ども達から「こんにちは」「いつもありがとうございます」という言葉をいただきます。その度に、心が温かくなり「こちらこそありがとう」と自然に声が出てしまいます。授業を受けている様子、休み時間に遊んでいる様子、様々な場面で舞鶴の子の優しさ素直さ礼節さを感じます。

始業式から、ほぼ一ヶ月が過ぎましたが、依然として三密を避けたならび方や、話をするときはマスクを着用する等のコロナ対策を継続しながらも、子ども達の学校生活は次第に落ち着きはじめました。これからは梅雨明け後の「熱中症事故防止」にも配慮をしていきながら、一歩一歩、子どもに寄りそい子どもと共にあゆんで行きたいと思います。体調が悪いときは自分自身にも「思い遣る心」を持って、無理せず「疲れたら休んでも良いよ。」と話してあげて下さい。まだまだ、ご心配やご迷惑をおかけすると思いますが、保護者や地域の皆様には、ご支援とご協力をお願いいたします。

測定・健診の再開

６月１日（月）から「発育測定」を１０日（水）から「歯科検診」が始まりました。どちらも１年生には初めての体験ですが、どの子も落ち着いて受けていました。１年生だけでなく、どの学年の子ども達も「足形」の上に並ぶのですが、「足形」が無くても上手に並ぶことができるようになりました。登校時の玄関もそうですが、子ども達は並ぶときの距離感をつかんできたようです。

授業の再開

学校は３月から臨時休業になりましたので、高学年は今年度の学習の前に昨年度末の学習から始めました。その中で、６年の先生方は、「甲府市の学習支援番組」に出演し、算数の「線対称」の授業を行いました。配信された内容は、もちろん授業で扱いましたが、予習・復習にも活用してください。

給食が始まりました

８日からは給食が始まり、本格的に全日の授業になりました。感染を防ぐために今月は、配膳時間が短縮でき、かつ栄養も十分に確保された献立となりました。時間差をつけて消毒から配膳まで教務からお手伝いに行ったり、先生方はシールドをつけて配膳をしたりしましたが、子ども達も手洗い・消毒・配膳・食事・片付け・歯みがきまでの流れをすぐにつかんでスムーズに給食の時間を過ごすことができました。

「生まれた生命」を大切に

「避難訓練」と「シェイクアウト訓練」がありました。どちらの訓練も、とても静かに素早くでき、子ども達の態度も素晴らしかったです。児童用スクールプランにも載せましたが、何よりも大切なものは「子ども達の命」です。今回の訓練を振り返り、これからも子ども達の「『あぶない』をよそうする、『あぶない』からはなれる」力を育てていきたいと思います。また、子ども達が登校を始めてから、甲府駅前交番のお巡りさんやパトロールカーが登校指導や巡回をしてくれています。保護者や地域の皆様、お巡りさん、子ども達の安全確保をありがとうございます。

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。

人の傘となる「健康な体」

子ども達にとって休み時間は友達と過ごすことができる大切な時間です。もちろん体を動かすことで気持ちもリフレッシュします。休み時間を確保しながらも、感染防止のために、低学年と高学年に分けて、業間の休み時間は時間帯を分けたり、昼休みは、そうじと休み時間を入れかえたりして、子ども達が密にならないようにしています。また、混み合わないよう水道場を学年で分け、遊んだ後は手洗いと消毒をしっかり行う、毎週末には器具等の消毒を行うなどの対応をしています。

校庭の遊具には体育部の先生のアイディアで「使い方カード」をつけました。また、子ども達の運動量を確保しながら接触を減らすようにと体育部の先生方が毎朝校庭に「へび道」などのラインを引いてラインを使った「遊び方カード」をおいています。

また、鉄棒には、密を避けて投げる力を伸ばすことができるようにと「点数カード」を吊してストラックアウトのコーナーを作りました。なかなか高得点は難しいようですが、子ども達は楽しんでボールを投げていました。

梅雨の晴れ間には、熱中症計の「指数」に注意しながら、校庭での体育にも頑張っています。体の接触がある運動は、もうしばらく経ってからとなりますが、今できる運動としてハードル等の陸上競技やなわとびなどの器具・用具を使った運動を行っています。

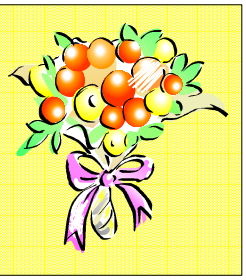
遊びや体育の授業を通してしっかりと体を動かし、心と体のバランスをとることができると良いと思います。

コロナウィルス感染防止と熱中症事故防止に向けて

学校生活ではマスク着用が原則です。ただし、担任の指導のもとであれば「書写など飛沫感染のリスクが少ない授業では、状況に応じてマスクを外してもよい。」こと、「息苦しさを感じる等のときは先生に伝えてから、学年によっては、自主的に、或いは担任の指導のもとマスクを外してもよい。」こととしました。また「登下校中は特に熱中症のリスクが高いので、息苦しい等、必要に応じて、お喋りをしないでマスクを外してもよい。」ことを子ども達の発達に応じて指導しました。

また先日、生徒指導部会で、熱中症対策として、子ども達の登下校の負担を減らすため、荷物の減量策について話し合いました。子ども達の体力や学習量、当日の宿題など各学年の実態に応じて、持ち帰る教科書や資料などについて可能な限り少なくしていきたいと思います。

これも熱中症対策ですが、休み時間には熱中症計で「指数」を測定しています。「活動中止」ゾーンでは「外遊び中止」、「厳重警戒」ゾーンでは外遊びの時間の短縮と途中にマスクを外して体を休める時間をとる、という対応を、その日の指数に応じて放送で指導することにしました。夏は暑いものですが「暑すぎる夏」が想定できるので、「こまめな水分補給のための水筒・日射から頭部を守る帽子・流れた汗をぬぐうタオル」を忘れず持たせて下さい。また、免疫力を維持するためにも「はやね・はやおき・朝ごはん・トイレ」を忘れずお願いします。

梅雨とはいえども夏日もあり、これから本格的な夏を迎えます。感染のリスクを避けつつ熱中症事故防止に取り組んでいきたいと思います。

今月の一コマ